

鏡野町総合計画審議会（第5回） 議事要旨

日時：令和7年12月19日（金）

午後1時30分

場所：鏡野町役場 危機管理センター

1 開会

事務局：挨拶

中村会長：本日は基本計画、総合戦略の効果検証、総合戦略案についてと盛りだくさんである。みなさまの意見をどんどん集約していきたいので、ご協力をお願いする。

2 協議事項

① 第5回審議会での協議事項

・基本計画（案）について

※詳細な議事録は総合計画のページにて掲載のため割愛

・総合戦略（令和6年度効果検証）について

～事務局より説明～

中村会長：意見はあるか。問題点が次の戦略に反映されるべきで、重点をおいてほしい。

近藤委員：6Pのふるさと納税について、1000件目標について、6年度、7年度がより一層増えており、急激に増えている要因などあれば教えてほしい。

事務局：運営や管理のノウハウをもった民間の委託事業者と契約して、HPや寄付の充実とともにチャネルが増えたことが要因であると考えられる。

宇佐美委員：令和4年度の台風で1件とあるが、どこかわかるものか。どういった団体だったか。

事務局：奥津温泉の施設だったかと思う。今手元に資料がないため、改めてお示しする。

金島委員：7Pの数値目標の要介護認定率について、認定率が上がったから良いのかどうか、目的を教えてほしい。

事務局：県よりも低ければよいということで、健康な方が多いという指標である。

金島委員：県よりも低いということで、見方がわかりにくいかもしれない。

事務局：鏡野町は健康づくりに取り組んだ効果が出ているのではないかと考えている。健康寿命が延び、介護にかかっている人が少ないという指標で設定している。

中村会長：要介護になる人が少ない。ということが言いたい。認定できていないのではなく、健康であるという意味で検証はできているのだろうか。

事務局：介護予防の取組についても、ある程度効果があったのではないかと担当課からは聞いている。実際に踏み切った検証ができているかどうかは、この場では答えられない。

金島委員：健康寿命の年齢などが数値化できていればよいが、介護認定を受けてないだけの方もいると思う。

近藤委員：文化スポーツの誘致数で目標 20 件だが、今後においての目標数値も変更していった方がよいのではないか。

事務局：当時は国民宿舍いつきがあって目標設定をしたが、現在閉館しており、伸び悩んでいる。次期総合戦略でこの数値を使うのかどうかについても皆様からご意見いただきたい。

小椋委員：子育てしやすいまちとか仕事と子育ての充実について、アンケート調査だと思うが、現状値と実績について、年代別や南北でも意識が違うのではないか。そういうことが反映されているものなのか。把握できる調査になっているか。

事務局：無作為に毎年 1000 人にアンケートをしており、南も北も人口割合で同じにしているため、件数としては少なくなる。返信があるかどうかも問題である。回収率は多ければ 50% くらいになる。年代別でも分けて集計しているし、自由意見についてもすべて担当課に共有するようにしている。

～事務局より、新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧デジタル田園都市国家構想交付金）について説明～

中村会長：意見はあるか。地方創生における事業効果、戦略 KPI における事業効果について判断しないといけない。私から出す案として、アウトドアにおけるソフト事業、など、目標は達していないが達成に向けた動きについては有効に進んでいると考えている。2 つ目のハード事業。奥津湖の建物改裝について、いま実際に稼働しているということで、KPI 達成に寄与していると判断できるだろう。ICT 教育環境については、事業が行われ、効果指標も 2 / 3 達成していることから有効と考えてよいと思う。最後の総合戦略についても達成率がよいので、有効だったと考えてよいのではないか。

これについてなにかご意見あればお聞かせいただきたい。

よろしいでしょうか。

- ・次期総合戦略（案）について

※詳細な議事録は総合計画のページにて掲載のため割愛

② その他

- ・委員名簿の公表について

3 連絡事項

- ・意見シートの提出について

・第6回審議会について （日時：2月6日（金）午後1時半 場所：特別会議室）

4 閉会

事務局：本日は長時間にわたり協議ありがとうございます。今後の策定の参考にし、検討に入る。年末も迫り、寒くなる。正月に向けて健康に注意いただきたい。